



3月に市内で行われたイベントについてお知らせします

今月の表紙

戦場ヶ原神戦伝



3月26日(土)・27日(日)に市制施行10周年を記念して、今市文化会館で市民参加演劇戦場ヶ原神戦伝が開催され、2日間で1,262人が来場しました。

男体山の神と赤城山の神が大蛇と大ムカデに化けて戦場ヶ原で戦った伝説をベースに作られたオリジナルストーリーで、市内在住の大谷川一聡さんが脚本を仕上げました。舞台にはダンサーやバンド演奏、太極拳など小学3年生から79歳までの総勢100人が参加しました。

舞台で、美森役を務めた大桑小学校4年生の阿久津舞白さんは「去年の8月くらいから練習を始めました。観客全員に私の声が届くように一生懸命演じました」と笑顔で話してくれました。



3月20日(日)・祝、道の駅「日光」日光街道ニコニコ本陣で日光キッズゲルニカ完成披露発表会が行われました。2月27日(土)・28日(日)、3月19日(土)・20日(日)の4日間にわたり延べ200名によつて描かれた日光の平和の象徴の絵画は、杉並木など日光らしいモチーフで構成され、観客の拍手喝采を浴びていました。

キッズゲルニカ



3月20日(日)・祝、今市文化会館で市制施行10周年記念式典が開催されました。平成18年に、今市市・日光市・藤原町・足尾町・栗山村の2市2町1村による市町村合併を経てちょうど10年目となるこの日、会場には約800名の出席者が集まりました。

市制10周年記念式典



文「日光市へのラブレター」の最優秀作品の表彰・朗読や記念映像の上映、公募による市の花などのデザインの優秀作品の表彰、今市少年少女合唱団による日光市の歌の合唱などが行われました。また、ホワイエでは、市民や観光客などを撮影した写真約7,000枚を使用して作成した「モザイクアート」や、市町村合併後の10年間に撮影した写真などを展示するパネル展も開催されました。



3月13日(日)、東武「鉄道むすめ」スプリングフェスタ in 鬼怒川温泉が、鬼怒川温泉駅前広場周辺で開催されました。「鉄道むすめ」とは、日本全国に実在する鉄道会社の制服を着たキャラクターです。会場に鉄道むすめやアニメ作品の痛車(ラッピングデザイン車)が約20台展示される中、ステージでは、アニメ声優のトークショーや



アニメキャラコスプレコンテスト、鉄道むすめフォーラムが行われ、多くのファンが駆けつけました。また、3代目「ミスきぬがわ」に選ばれた川崎美海さん(千葉県在住・写真右)と大島稚捺さん(東京都在住)のお披露目会も行なわれ、「積極的に鬼怒川温泉の魅力进行PRしていきたい」と話していました。



3月20日(日)、イオン今市店で「NIKKO防災フェスタ2016」が開催されました。屋内ブースでは、ゆるキャラじゃんけん大会などのアトラクションや防災グッズの展示、非常食の体験コーナーが設けられました。一方、屋外ブースでは、災害体験エリアとして市消防本部による



「ハシゴ車搭乗体験」(写真上)や「地震車体験」(写真下)、「煙通路体験」などが行われ、多くの家族連れが体験しました。家族で全てのエリアを体験した鷹崎由貴さんと朋希くん(瀬尾)に、ハシゴ車で地上20m上空を体験した感想を聞くと、朋希くんは「ドキドキしたけど楽しかったよ」と元気よく答えてくれました。

全日本手打ちそば 早食い選手権



3月13日(日)、第20回全日本手打ちそば早食い選手権大会が、道の駅「日光」日光街道ニコニコ本陣で開催されました。

この競技は、盛りそば3枚分(約650g)をいかに早く完食するか競うもの。多くの人が見守る中、今大会は県内外から93名(男性71名、女性22名)が出場し、時間との戦いに果敢に挑戦しました。中には、そばを口いっぱい頬張り苦しむ人や制限時間の4分をたっぷり使ってそばを堪能する人なども見受けられ、会場から笑いが起こりました。

結果は、神山翔平さん(茨城県那珂市)が46秒で一般の部優勝。5連覇を果たし、殿堂入りしました。女性の部に出場した岩崎成美さん(宇都宮市)は、「おいしいそばだったので、早く食べるのがもったいなかった」と笑顔で話していました。



会場の外の物産展も大盛況!